

長浜市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画のパブリックコメントの実施結果について

◆公表した資料

【資料1】長浜市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画の改定案（原案）の概要

【資料2】長浜市公共施設等総合管理計画改定案（原案）

【資料3】長浜市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画改定案（原案）

◆意見募集期間

令和元年11月25日（月）から令和元年12月25日（水）まで

◆提出された意見

1件（1人）

◆意見の内容（概要）と意見に対する市の考え方

意見の内容（概要）	意見に対する市の考え方
浅井歴史民俗資料館では、企画展やイベント、講演会など様々な催しを完遂し、地域の皆さんの多くの参加を得て好評をかくしている。中でも小学3年生児童を対象とする「昔の暮らし体験」という資料館の活動はこれからの子ども達の生き方に関わる貴重な財産だと思う。こうした体験は、豊かな心を育み、未来の長浜市の後継者として、また国際社会へと羽ばたく子ども達の大きな力となっていくのではないかと。さらに、小学生に限らず、中高生、大人の方々の利用もあり、郷土の発展の限りない力となるものと確信するものである。市の行政当局としても大いに力を入れていただき、宣伝していただく必要があろうかと思われる。 市の公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画案を読むと、今後、長浜城歴史博物館、（仮称）小谷城戦国体験ミュージアム、（仮称）観音文化の里ミュージアムの3館に集約とあるが、浅井歴史民俗資料館はそのどれにも属さない民俗の展示、体験という特徴があり、計画のタイトルにある「未来の長浜市民に、よりよきものを引き継ぐ」という言葉にふさわしい貴重な資料館だと確信できる。資料館の中で、江戸時代の庄屋の家であった「七りん館」は現在、文化財への申請中だと市担当課から聞いた。そのような中、市の直営から外すことに大変疑問を感じる。市担当課からの話では、新しい施設の構想は旧長浜市、旧東浅井郡、旧伊香郡のくくりとのことだが、長浜市となった現在、私達の周りでは、旧地域の偏った意識はまったくない。また、長浜市、米原市の子ども達は無料なので、費用対効果が得られないというなら、わずかでも体験料をいただくとか、市外や県外の学校などにも広く案内してはどうか。このような前向きな対策がなされないままの突然の通告を受け入れることはできない。一度、関係者の方々に見学に来ていただきたい。資料館のことをまったく見たこともない人達が卓上で協議し、進めているとしたら、まったく理不尽な話である。現在長浜市には、民具や貴重な資料があちこちの資料館で収蔵されていると聞いている。その収蔵を浅井の資料館に集約するという方法もあるのではないかと。大切な物を失ってからではどうにもならない。どうか市民の声に耳を傾け、将来を担う子ども達のために耳を傾けていただきたい。	現在策定中の「長浜市歴史文化基本構想」は、地域の文化財は地域で保存活用し、まちづくりに活かす体制を築くことで、確実な伝承につなげることを方針としています。この方針に基づき、現状で12存在する長浜市の博物館・資料館については、直営施設と地域運営施設との区別を明確化し、地域運営施設では、地域の自主性を尊重する運営を進めることとしています。 浅井歴史民俗資料館についても、地域運営施設として、地域による自主的な運営を目指し、より有効な施設の活用を図っていきたいと考えています。 「長浜市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画」においては、地域運営施設としての位置付けが明確となるよう、他の地域運営施設に係る記載内容と合わせるため、改定案（原案）を下記のとおり一部修正することとします。 なお、市内に散在する民俗文化財を浅井歴史民俗資料館に集約するとのご提案は、非常に参考になるものです。しかしながら、現在長浜市が所有する民俗文化財は非常に多いことから、そのすべてを浅井歴史民俗資料館に収納することは不可能であると考えます。 <個別施設計画改定案（原案）修正内容> 【博物館・資料館】 ⑦今後の施設の具体的な方向性（28ページ）※抜粋 （修正後） ・浅井歴史民俗資料館、五先賢の館、余呉茶わん祭の館、北淡海・丸子船の館、富田人形会館、東アジア交流ハウス雨森芳洲庵、国友鉄砲の里資料館及び菅浦郷土史料館については、耐用年数が経過した段階で存続について検討します。 （修正前） ・五先賢の館、余呉茶わん祭の館、北淡海・丸子船の館、富田人形会館、東アジア交流ハウス雨森芳洲庵、国友鉄砲の里資料館及び菅浦郷土史料館については、耐用年数が経過した段階で存続について検討します。